

長崎県警察へ交通事故抑止啓発チラシ贈呈、街頭活動に参加

～長崎県下の事故多発交差点の特徴や事故の状況・予防方法等を紹介～

日本損害保険協会長崎損保会(会長:杉本 圭司 三井住友海上火災保険株式会社 長崎支店長)では、12月15日(月)に長崎県警察へ交通事故抑止チラシを1万部贈呈し、その後、街頭活動に参加して県民の皆様へ交通安全を呼びかけました。

同警察本部で開催された贈呈式では、杉本 会長から、「事故多発交差点をより多くの県民の方に知っていただけるように、片面を長崎県内の事故多発交差点の周知、そしてもう片面は高齢者交通事故抑止を目的として、長崎県警察のご協力のもと、交通事故抑止啓発チラシを作製した。チラシを活用いただき、事故多発交差点の通行時にご留意いただくとともに、高齢者の皆さまには、チラシに掲載したチェック項目を確認いただくことで、交通事故を1件でも減少させたい。」との挨拶がありました。

贈呈を受けた同警察本部 田川 交通部長から、「高齢者が交通事故に関わる割合が増えおり、交通事故抑止に力を入れている。また、事故多発交差点に関しては、『自分の家の近くだから気を付けよう。』といった気付きになるよう周知していきたい。本日贈呈いただいたチラシについては、交通事故抑止に向け、早速活用させていただく。」とのお礼の言葉をいただきました。

贈呈式終了後、長崎市浜の町 鉄橋で実施された、街頭活動に参加し、長崎県警察や長崎地区交通安全協会等とともに事故多発交差点の周知や反射材の貼付の推奨など、交通安全を直接呼びかけました。

長崎損保会では、引き続き、県警等との協力関係を深めながら、交通事故多発交差点の注意喚起活動をはじめとする交通事故抑止活動に取り組んでいきます。



贈呈の様子



記念写真



街頭活動の様子



街頭活動での配布チラシ